

## 第3回策定委員会 資料6

---

ビジョンの基本的な考え方（案）

2023年8月2日  
台東区都市づくり部



# 1. 基本的な考え方（案）

# 1-1. 各部会のご意見を踏まえて

- 第3回基盤整備部会（7月21日開催）、第3回まちづくり部会（7月24日開催）のご意見を踏まえ、ビジョン策定の基本的な考え方を整理する。

## 【議論抜粋】

### まちづくり部会

- ① 国際観光都市として発展するために、これからも多くの人に来て楽しんでほしい。
- ② そのためにも受入れ環境の整備は必要。
- ③ 観光地としての浅草を空間的・時間的に広げるべき。
- ④ 建替えや環境整備のルール化が必要。
- ⑤ 隅田川はまちの動脈。水辺の活用と魅力の発信が必要。
- ⑥ 居住者の環境を守ることも大切。

## 【議論抜粋】

### 基盤整備部会

- ① 国際観光都市としての発展には、受入れ範囲の拡大と、まちの質を高める議論が必要。
- ② まちの外から中へ、中から外へ広がるまちの回遊の拠点が必要。
- ③ まちと水辺をつなぐことが必要。
- ④ 水上交通も主要な動線の一つ。

## 【考え方】

国際観光都市として発展し続けるために、居住環境の快適性にも配慮しながら、水辺も意識した、より広い面での浅草の魅力の発信とまちの整備が必要である。

# 1-2. 現在のまちの区分

- 平成19年策定の「浅草地域まちづくり総合ビジョン」では、対象地域を特性ごとに5つのゾーンに区分している（図1）。
- 令和4年度「浅草地区観光まちづくり推進協議会」開催の、まちの未来を考える若手によるワークショップも、対象範囲を5つのゾーンに分けて実施されている（図2）。

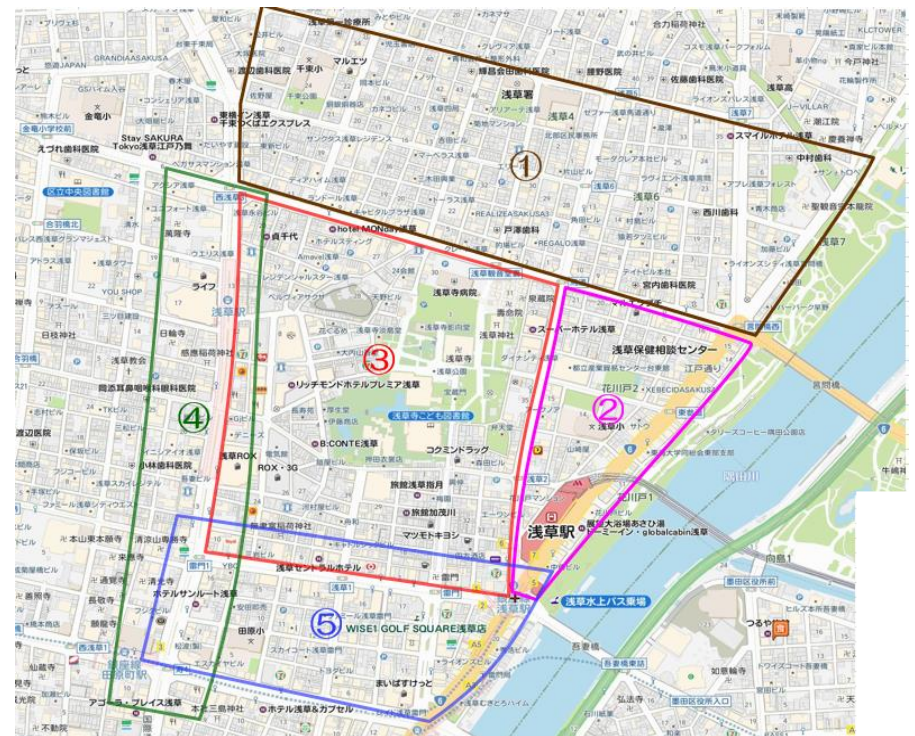
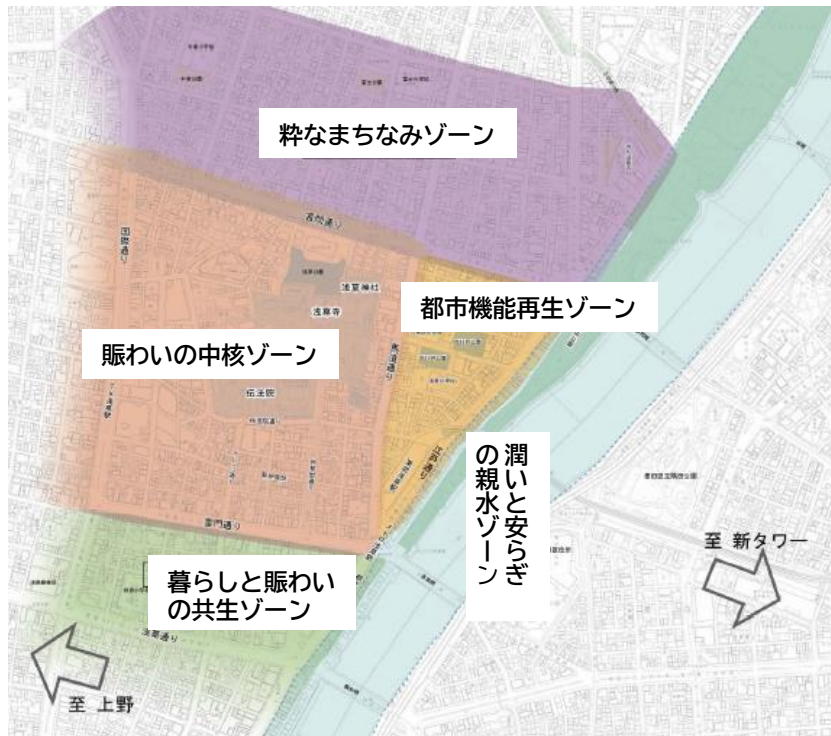
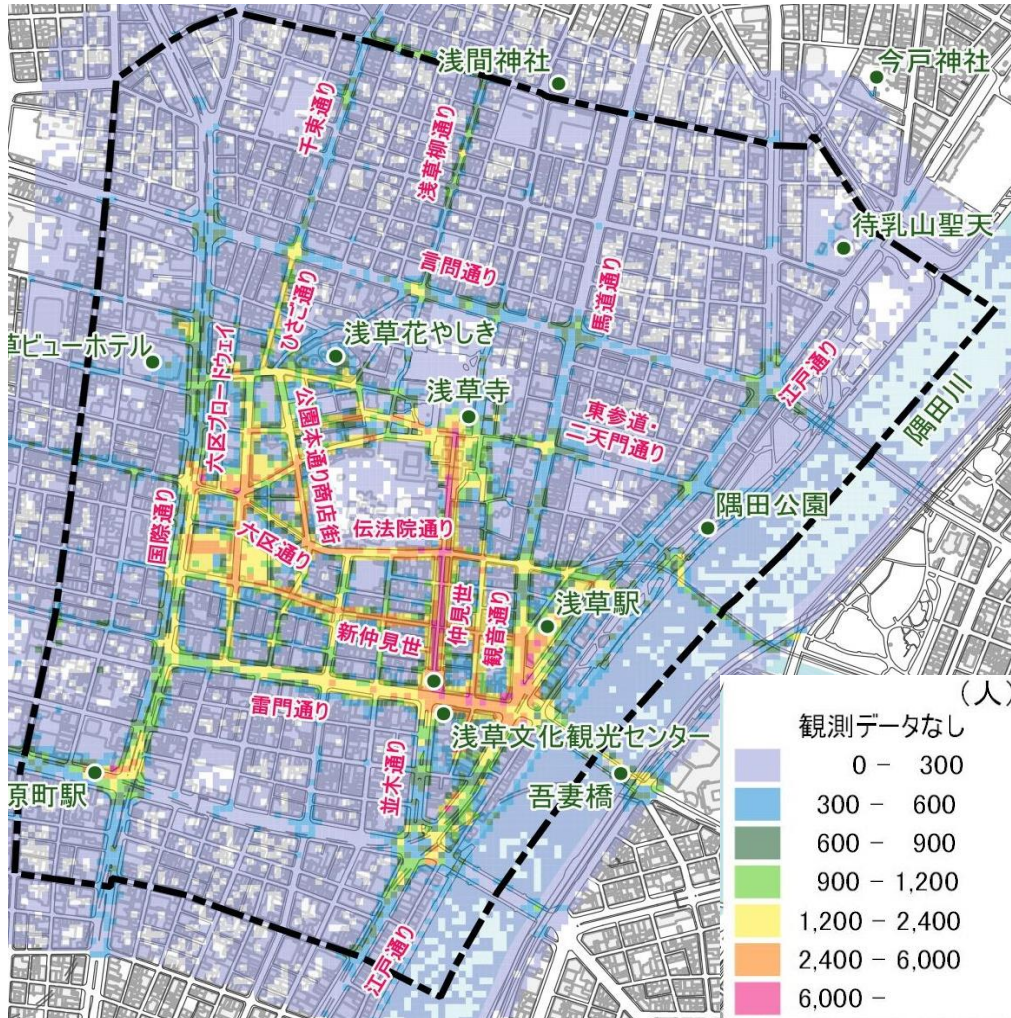


図1 浅草地域まちづくり総合ビジョンにおけるゾーン区分

図2 浅草地区観光まちづくり推進協議会 WS開催の地域区分

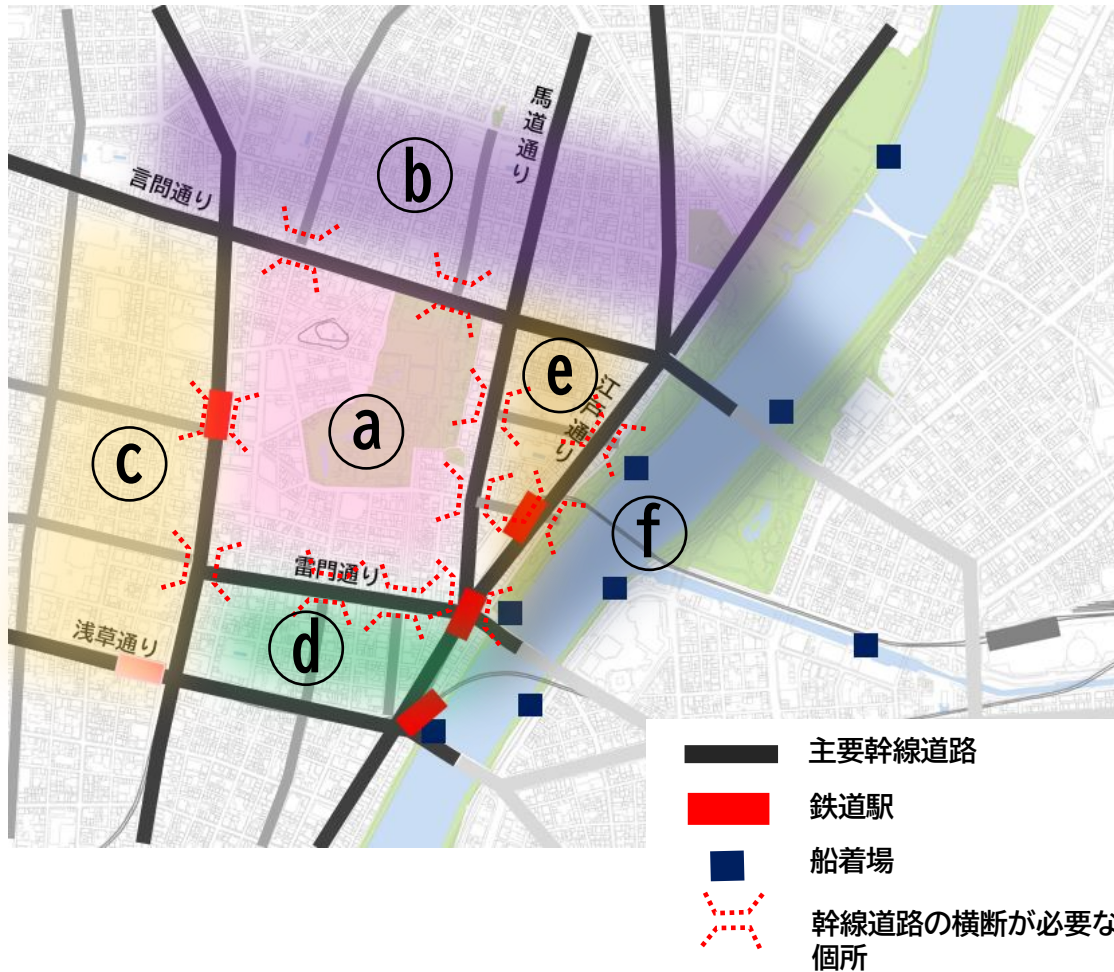
# 1-3. 現在の歩行者の通行状況

- 東武浅草駅、雷門、浅草寺にかけて歩行者が集中している。



# 1-4. 現在のまちの構造

- 対象範囲は主要幹線道路に囲まれた、特徴のある6つのゾーンで構成されている。
- ①ゾーンでの来街者の過密や、受入れ施設（トイレ・喫煙所・休憩所等）の不足が課題になっている。



## 国際観光都市 浅草

大きな課題の一つ

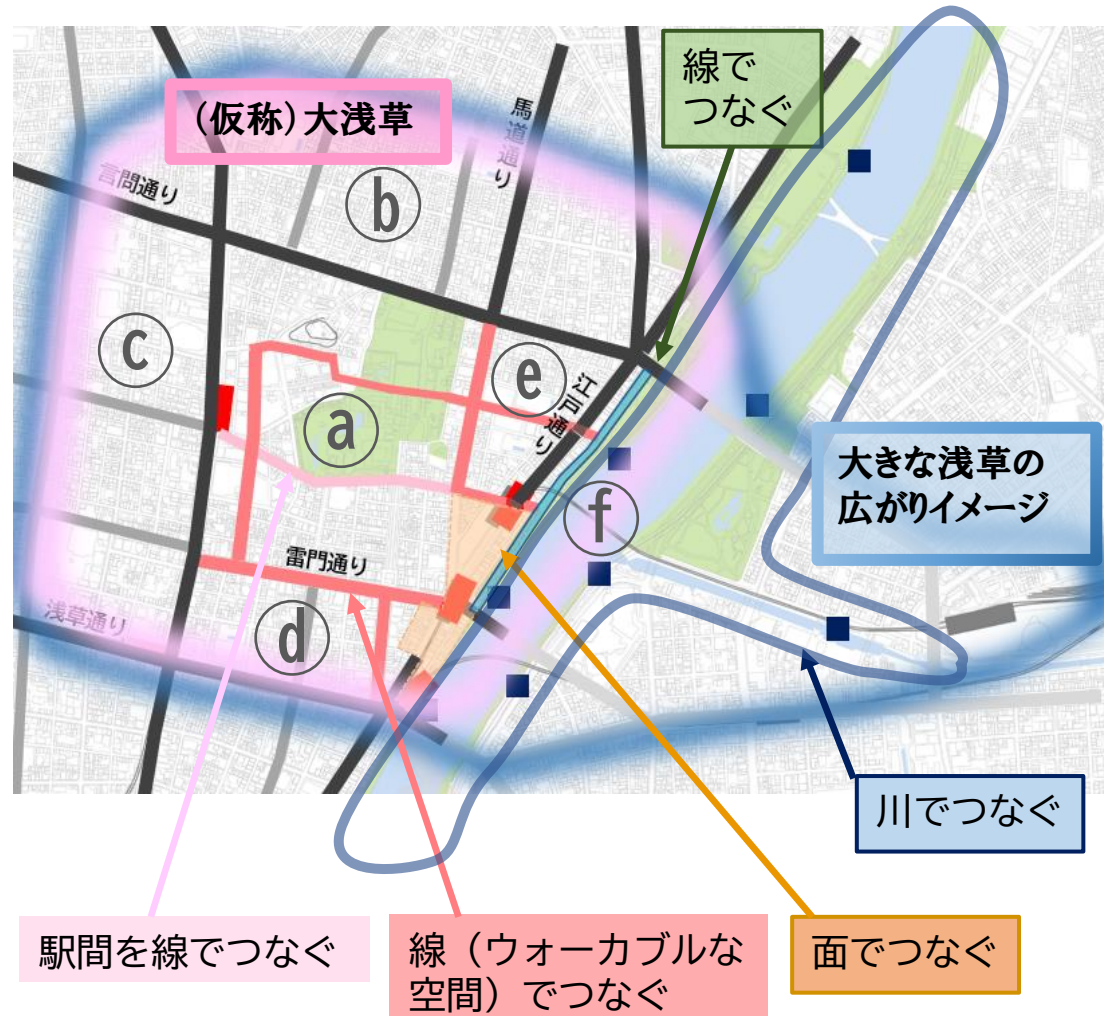
### ①ゾーンへの来街者の集中

基本的な考え方

- 今後も「国際観光都市」として成長するために、①ゾーンだけでなく、隅田川沿いの⑥を始め、その他のゾーンの魅力も発信し、より広い面で来街者を受入れる。
- そのために、連続的な安全で居心地の良い空間を創出し面を広げ、より広い浅草の魅力を発信。

# 1-5. ビジョンの基本的な考え方① (案)

- 6つに分かれたゾーンを「一つの浅草」となるよう「つなぐ」。



## 国際観光都市 浅草

基本方針 (案)

より広い範囲の魅力を  
発信する「(仮称)大浅草構想」

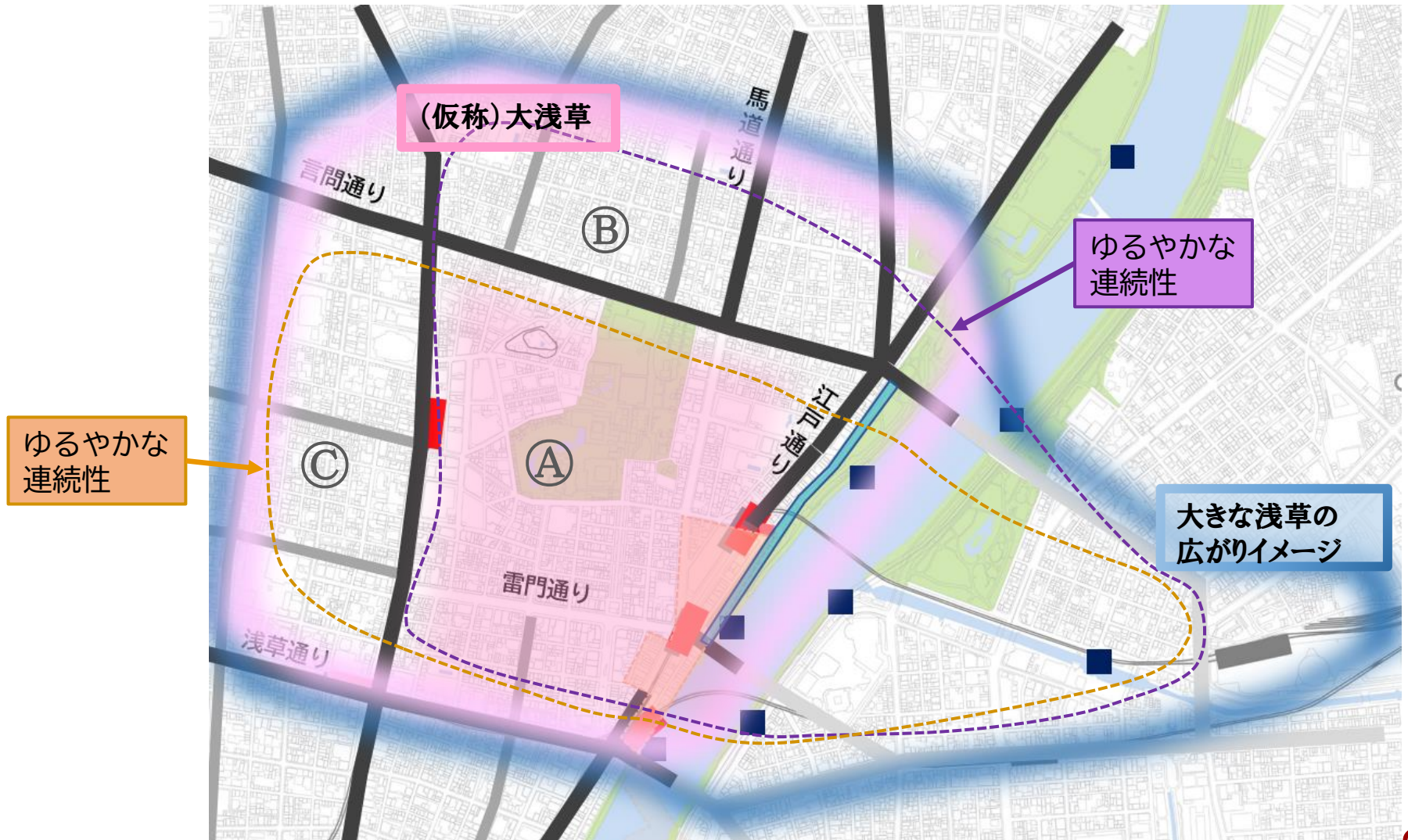
基本的な考え方

- 各ゾーンをシームレスにつなぎ、来街者が①だけでなく他の地域とバリアなく行き来できるようにする。
- 特に①④⑤⑥を一つの基軸とし、川とも一体となったより広い面のまちづくりを推進する。
- ②③については、居住空間も集積していることから、緩やかな連続性の創出を目指す。
- 墨田区側との連携も意識する。



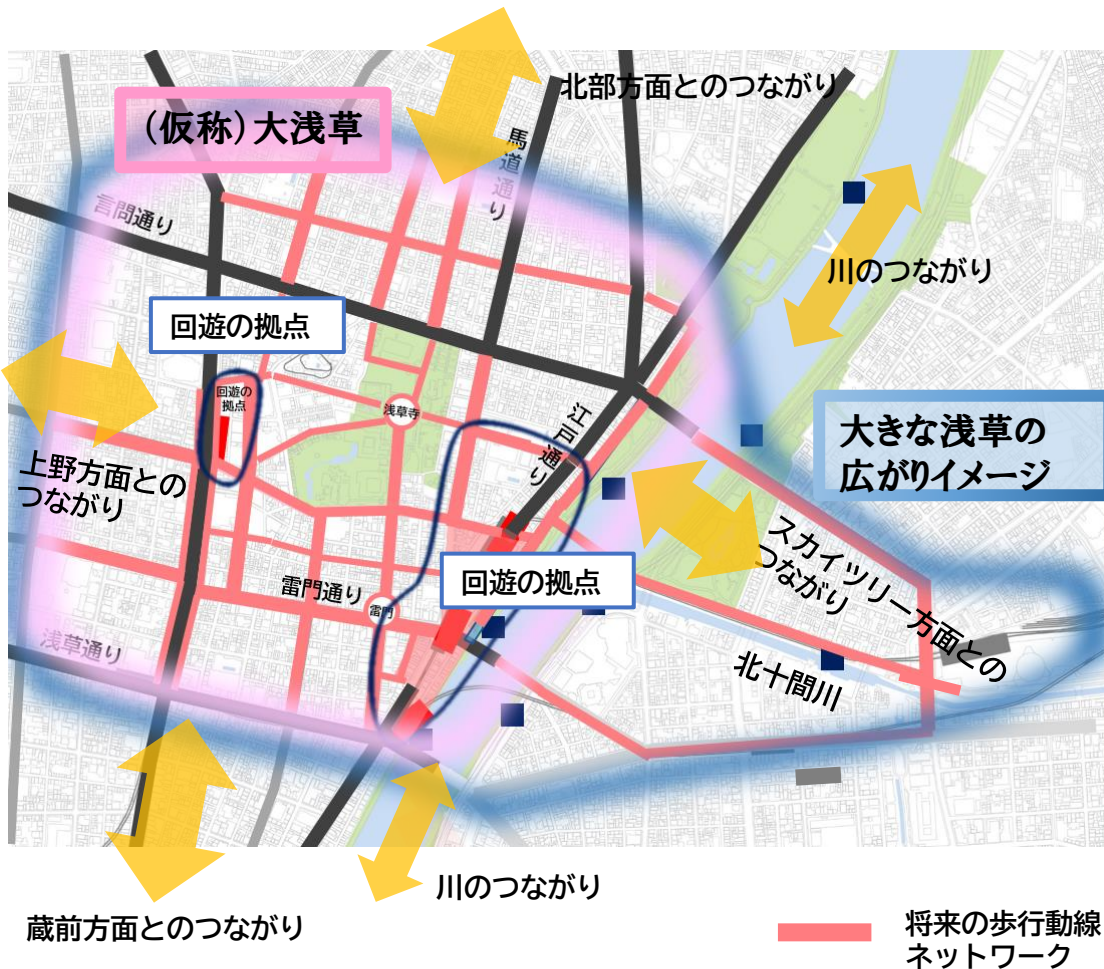
# 1-5. ビジョンの基本的な考え方① (案)

- ビジョンでは、各ゾーンをシームレスにつなぎ、ひとつの大きな浅草を目指す。



# 1-5. ビジョンの基本的な考え方② (案)

- 周辺地域とつながる「大きな浅草」の歩行者動線ネットワーク構築を目指す。



## 国際観光都市 浅草

基本方針 (案)

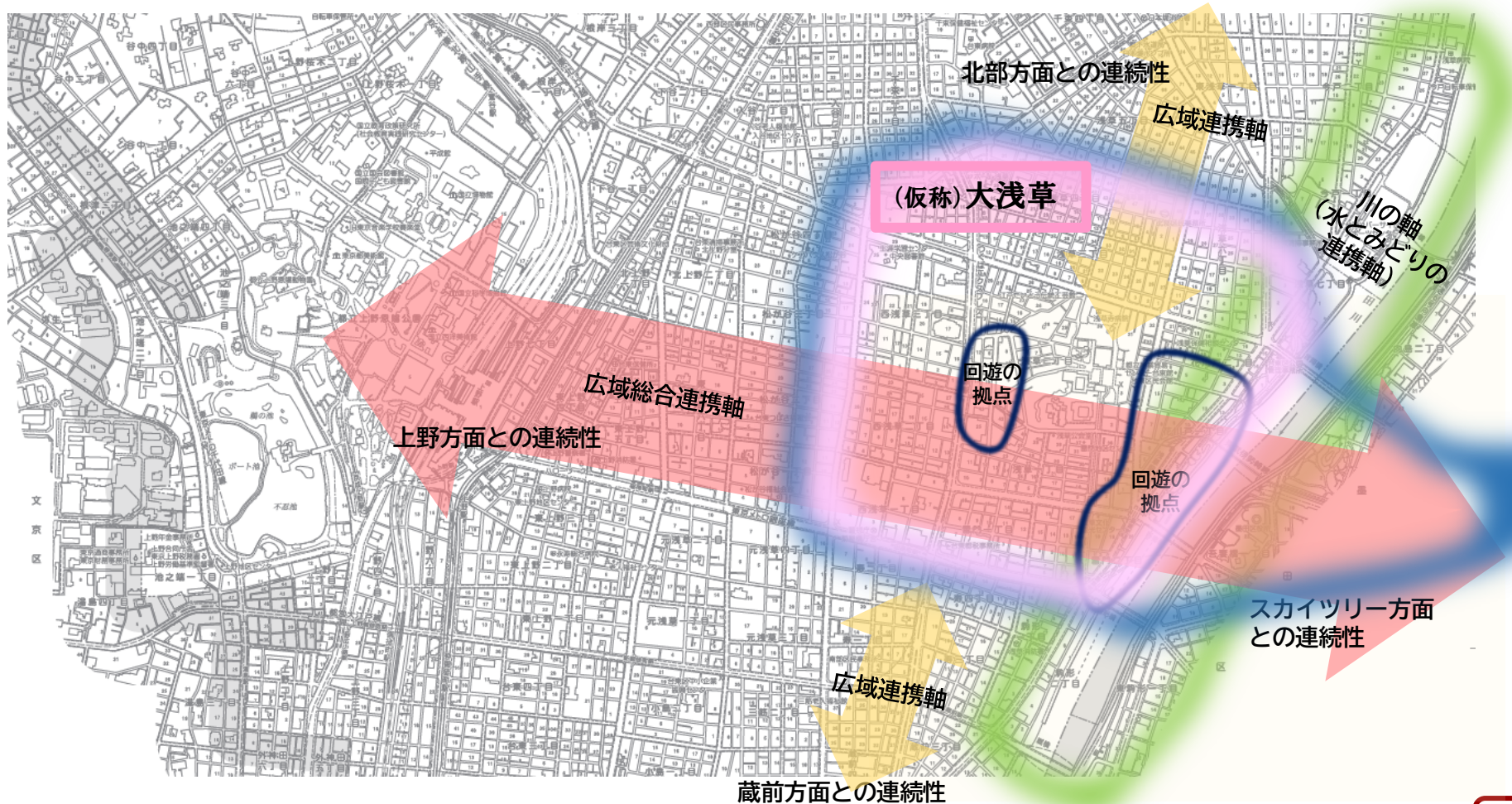
### 回遊拠点の整備 「東西回遊の拠点づくり」

基本的な考え方

- 歩いて楽しい歩行者動線ネットワークを構築し、都市回廊浅草を実現する。
- 西と東にまちの拠点を設け、地域内外の回遊の起点とする。
- 拠点は、おもてなしの顔となるような空間整備を目指す。
- 東の拠点は、水辺も意識した整備を目指す。

# 1-5. ビジョンの基本的な考え方（案）

- 面的な一つのまとまりである「大きな浅草」を上野側や墨田区側と結ぶ広域総合連携軸、北部地域や蔵前地域との連携を目指す広域連携軸、隅田川でつながる地域とのつながりをめざす川の軸（水とみどりの連携軸）も意識して検討する。



# 1-5. ビジョンの基本的な考え方（まとめ）

## 国際観光都市 浅草にふさわしい環境整備

### 基本的な考え方

- 今後も成長し続けられる国際観光都市であるために、より広い範囲の魅力を発信していく。
- 快適に生活できる居住環境も確保する。
- 主要幹線道路に囲まれた、特徴のある6つのゾーンをシームレスにつなぎ「大きな浅草」の整備を目指すとともに、スカイツリー方面まで広がり意識する。
- 居住者の多いゾーンとは、緩やかなつながりになるようメリハリをつけた「つなぎ」を検討する。
- 川を活かしたまちづくり（まち～川）・川でつながるまちづくり
- 東と西におもてなしの顔となるまちの回遊の拠点を整備する。



### 基本方針（案）

受入れ範囲を広げる「（仮称）大浅草構想」の推進

東西回遊の拠点づくり

居住地としてのブランド価値の向上